

研 究 成 果 情 報	園 芸	9	野菜	栽培
新技術・情報名	ハウス栽培による葉ごぼうの早期出荷		分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

葉ごぼうのトンネル被覆栽培では休眠による葉柄のしなび、枯れ込み等により品質が低下することがある。このため雨よけハウスの冬期利用により品質が優れ、約1カ月収穫時期が早期化できる栽培法を明らかにした。

- (1) 品種別のハウス栽培による出荷時期は、10月25日に播種すると「葉ごぼう専用品種」が1月中旬、「渡辺早生」が2月上旬～中旬である。
- (2) ハウス内でのトンネル被覆栽培は、葉柄重が増加し出荷時期がやや早くなるものの、根重が減少し、日中の高温による葉やけを起こしやすく、品質が劣るので行わない。

2) 技術・情報の適用効果

ハウスの冬期利用により葉ごぼうの早期出荷が可能になる。

3) 適用範囲

県下平坦地

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

- (1) 乾燥による品質の低下を避けるため、適度な灌水を励行する。
- (2) 日中高温になりすぎないように換気に注意する。
- (3) 「みとよ白肌」、「プラチナ」もハウス栽培することによって、出荷時期を約1カ月早期化できる。

2. 具体的データ

表1 「渡辺早生」の収量及び品質 (平成3年)

播種日	保温方法	2月14日	収穫期		収穫適期
		収量	収量	品質	
10月25日	ハウス+トンネル	kg/10a 1231	kg/10a 930	中	2月上旬
	ハウス	1097	927	上	2月上～中旬
	トンネル	189	893	上	3月上～中旬
	露地	87	856	中	4月中旬
11月5日	ハウス+トンネル	967	908	中	2月中旬
	ハウス	874	874	上	2月中旬
	トンネル	152	849	上	3月下旬
	露地	84	834	中	4月中～下旬

- 注) ①ハウスは間口5.4m、奥行き12mで無加温。
 ②トンネル被覆開始日は12月20日。
 ③品質は葉柄の外観品質を上、中、下の3段階で評価した。
 ④収穫適期は葉柄重+根重が25～30gとなった時期。

表2 「葉ゴボウ専用品種」の収量及び品質 (平成3年)

播種日	保温方法	1月23日	収穫期		収穫適期
		収量	収量	品質	
10月25日	ハウス+トンネル	kg/10a 719	kg/10a 791	中	1月上旬
	ハウス	756	756	上	1月中～下旬
	トンネル	254	843	上	2月中旬
	露地	28	892	上	3月中旬

- 注) ①ハウスは間口5.4m、奥行き12mで無加温。
 ②トンネル被覆開始日は12月20日。
 ③品質は葉柄の外観品質を上、中、下の3段階で評価した。
 ④収穫適期は葉柄重+根重が25～30gとなった時期。

3. その他の特記事項

担当部 科室名: 豊前分場 普通作物研究室
 研究担当者名: 小田原孝治・松江勇次
 研究課題名: 葉ごぼうの安定栽培技術確立
 期 間: 平成3年
 予算区分: 経常
 既発表論文・資料名等: 平成3年度 豊前分場 普通作物研究室
 野菜試験成績書
 取りまとめ責任者名: 小田原孝治